

宜野湾市議会からの政策等の提言に係る取り組み状況について（調査票）

No	提言年度	政策提言等の内容	これまでの取り組み経緯及び結果
1	平成30年度	<p>市役所来客駐車場の誘導業務の改善について 市役所来客駐車場の誘導員について、誘導灯や安全反射ベルトを着用し誘導業務を行っているが、服装が統一されておらず、来客者からわかりづらい状況にあることから、一目で誘導員とわかるような服装にしていきたい。また、混雑時でもスムーズに誘導が行えるよう、駐車場の路面に進行方向を示す矢印を表示していただきたい。</p>	<p>市役所来客駐車場管理委託業務を受託している市シルバー人材センターと協議をしたところ、一目で誘導員とわかるような服装については、制服などの作成費用のほか、シルバーが受託している他の現場との不公平感が生じることが懸念されることから、改善方法について、今後も継続協議することとしています。 なお、駐車場誘導員には、首掛け名札を着用することにより、来庁者から誘導員として認識できるよう対応しております。 駐車場の路面に進行方向を示す矢印表示については、平成30年11月に路面標示施行をおこなっております。</p>
2	平成28年度	<p>各種団体への補助金の助成のあり方について 各団体から補助金の増額要請がある現状を踏まえ、活動状況等を加味した上で、補助金の見直しを図るなど、適正な補助金交付に係る制度を構築していただきたい。</p>	<p>補助金・負担金については、毎年度の予算編成方針において、増額及び新規の補助金は原則として認めないとしているところですが、平成29年度当初予算から、自治会の市に対する貢献度、活動の重要性等を考慮して、自治会育成補助金（運営費）を約500万円増額した経緯がございます。 今後とも、各団体の活動状況等を精査して適切な補助額を検討してまいります。当市の厳しい財政状況を踏まえ、各補助金・負担金の目的が達成されたもの、補助効果が薄くなったもの、多額の繰越金が生じているもの等については、縮小や廃止も含めて見直しを行ってまいります。</p>
3	平成28年度	<p>本市と諸外国・地域との交流基盤構築に向けた民間大使の設置について 沖縄県や浦添市においては、すでに民間大使が設置されており、世界のウチナーンチュ大会で活躍するなど一定の成果を上げている。本市の情報を世界に発信する上でも、大変有意義なものであることから、ぜひ、民間大使の設置について、検討していただきたい。</p>	<p>あらゆる分野で国際交流と国際協力の推進は重要であると考えています。沖縄県に設置されている「ウチナー民間大使制度」や、他自治体の状況等も情報収集しながら引き続き研究・検討を進めて参ります。</p>
4	平成28年度	<p>「宜野湾市民の日」の周知強化について 7月1日は「宜野湾市民の日」として定められているが、いまだに市民の認知度は低い状況と考える。当該趣旨をより多くの市民へ理解していただけるよう「宜野湾市民の日」の周知に係る取り組みを強化していただきたい。</p>	<p>市民への周知に係る取り組みとして、式典会場である市民会館正面に懸垂幕を2ヵ月間（6月～7月）設置しています。さらに市道3カ所（伊佐、真栄原、大謝名の交差点）に横断幕を設置し、広く市民へ周知をおこなっています。また、市報6月号へ事前の告知と7月号へ開催報告の記事を掲載、市ホームページへも掲載しています。その他、市公共施設の一部で利用料が免除になる取り組みや市内商業施設等へ「市民の日セール」等のイベント開催をお願いするなど多くの市民の目に留まるような取り組みをおこなっています。</p>

No	提言年度	政策提言等の内容	これまでの取り組み経緯及び結果
5	平成29年度	<p>地デジ受信障害の実態調査及び事業再開について</p> <p>地デジ受信障害対策事業は平成23年度で終了しているが、いまだ米軍ヘリ等による受信障害により市民から苦情が寄せられる現状を踏まえ、国に対し実態調査の実施や同事業を再開するよう要請していただきたい。</p>	<p>米軍機飛行に伴う地上デジタル放送の受信障害については、平成23年度に一部地域(普天間・野嵩・新城)において、防衛補助を利用した対策が行われましたが、その後も、市内全域から受信障害の苦情が寄せられていることから、対策について国と協議をし、市内全域における対策事業の実施を求めているところであります。</p> <p>今年度、沖縄防衛局による地上デジタル放送受信障害の実態調査が実施されることになりましたので、調査結果を踏まえながら、市内全域における地デジ受信障害対策事業の実施を要請し、地デジ受信障害の解消に取り組んでまいります。</p>
6	平成29年度	<p>普天間基地から派生する騒音被害の実態調査と住宅防音工事エリアの見直しについて</p> <p>市街地のど真ん中に普天間基地を抱え、昼夜を問わず行われる住宅地上空での飛行訓練により日常的に騒音被害に苦しめられている市民の実状を踏まえ、国に対し、騒音被害の実態調査の実施や住宅防音工事エリアの見直しについて要請していただきたい。</p>	<p>米軍機による騒音被害につきましては、騒音測定結果や市に寄せられる苦情等を通して本市でも把握し、状況に応じ、沖縄防衛局をはじめとする関係機関へ直接、抗議・要請を行っているところであります。</p> <p>しかしながら、夜間騒音や外来機の相次ぐ飛来により苦情件数は増加傾向にあるなど、市民の負担はすでに限界を超えたものとなっております。</p> <p>騒音被害の軽減に向け、引き続き住宅防音工事対象区域の拡大など、要件の見直しや、航空機騒音規制措置の厳格な運用を要請して行くとともに、抜本的解決に向け、市民の強い願いである普天間飛行場の一日も早い閉鎖・返還と、速やかな運用停止をはじめとする危険性除去及び基地負担軽減の早急な実現を粘り強く求めてまいります。</p>
7	平成29年度	<p>学童クラブの待機児童解消について</p> <p>今後、共働き世帯の増加により、保育所と同様に学童クラブの待機児童問題も深刻化してくることが予想されることから、学童クラブを増設するなど、待機児童解消に向けた取り組みを強化していただきたい。</p>	<p>平成30年度においては、民間事業者の協力により学童クラブを10施設増やすことで、定員数も378名増え、待機児童数を前年度より113名削減することができた(平成29年度212人、平成30年度99人)。</p> <p>また、併行して今後の課題である学童クラブの質の向上と学童施設等、環境面の向上にも取り組んでまいりました。</p> <p>今後も10月からの実施予定の幼児教育、保育無償化の影響も踏まえて、待機児童の解消に努めていきます。</p>
8	平成29年度	<p>ひとり暮らし高齢者の安否確認等について</p> <p>年々ふえ続けるひとり暮らし高齢者の問題点等を踏まえ、市内のひとり暮らし高齢者の実態調査を行い、見守りが必要となる世帯の把握に努めていただくとともに、現在策定中の市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画へ今後の取り組み方針を明記していただきたい。</p>	<p>介護サービスの利用や見守りのニーズが特に高いと思われる世帯につきましては、地域包括支援センターが電話確認や直接訪問し、状態に応じて病院の受診状況の確認や総合相談での対応、介護サービスの利用状況の確認などを行っており、適切に対応できるような支援体制となっております。第7期介護保険計画においては、「基本目標1 施策(5)介護予防事業の充実」に記載しております。</p>

No	提言年度	政策提言等の内容	これまでの取り組み経緯及び結果
9	平成28年度	<p>中原進入路の早期整備について 中原進入路は、軍用地のため市が整備を行えない状況であり、歩行者や自転車においては危険が伴う路線である。当該軍用地が平成29年度に返還された場合、市は平成32年度から実施設計等を行う予定とのことであるが、事故防止等の観点からもあらゆる方策を検討し、早期の整備を実現して頂きたい。</p>	<p>中原進入路の整備については、平成30年4月に市道認定(市道名:中原33号)し、現道整備を行う政策事業として実施中。 ・平成30年度は用地測量を実施。平成31年度は用地取得を実施予定。 ※(平成30～31年度は防衛省補助:沖縄県内所在返還道路整備事業補助金(補助率10/10)) ・平成32年度からは道路整備(実施設計、整備工事等)に係る国庫補助を検討し、早期整備が図れるよう努めていく。 ・整備までの間は舗装補修等を維持管理で実施していく。</p>
10	平成29年度	<p>本市西海岸の開発について 当該地域は隣接する北谷町と比べても開発がおこなわれている現状がある。市都市計画マスタープランに基づき、本市西海岸から北谷町美浜を連絡する海岸沿いへの自転車専用道路及び歩行者専用道路の早期実現に向け取り組んでいただきたい。</p>	<p>自転車専用道路及び歩行者専用道路の整備につきましては、沖縄県で現在事業を進めている伊佐護岸老朽化対策事業など関連事業の情報収集を行うとともに、関係各課と連携して調査研究を進めていきたいと考えています。</p>
11	平成29年度	<p>排水施設上部への街灯設置について 長田区内(長田一丁目3番付近)にあるボックスカルバートは、生活道路として周辺住民に利用されているが側溝に蓋がなく、街灯もないため夜間は危険であることから、街灯を設置していただきたい。</p>	<p>市内の防犯灯につきましては、各自治会によって設置や維持管理がなされており、市では、防犯灯設置補助金交付規則に基づき設置・改修に係る補助金を交付しているところでございます。 当該箇所につきましては、愛知県及び長田区の境界沿いにあるため、両自治会長に情報を提供したところでございますが、未だ設置には至っていない状況であります。会長の変更もありましたので、再度、両自治会に情報を提供し、設置に向けて調整してまいります。</p>
12	平成30年度	<p>しちやばる公園(宇地泊)の早期整備について 宇地泊地区に整備予定のしちやばる公園は整備が一向に進んでおらず、付近の子供たちは車両の往来がある道路やアパート前で遊ぶなど、大変危険な状況にある。子供たちの安全な遊び場を確保するためにも当該公園の早期整備に取り組んでいただきたい。</p>	<p>しちやばる公園の整備計画につきましては、32年度に事業化できるように取り組んでいきたいと考えており、31年度は補助事業採択に向けて関係部局と調整して参りたいと考えております。</p>
13	平成30年度	<p>中城村との境界にあるハンタ道の抜本的な改修について 中城村との境界にあるハンタ道は、路面のいたるところに亀裂がみられ、大雨の際は地滑り等も懸念され大変危険な状況である。危険解消に向け、擁壁やパイルの打ち込みなど、抜本的改修に取り組んでいただきたい。</p>	<p>ハンタ道の路面の亀裂等については、これまで補修等をおこなってきたが、引き続き現場確認しながら道路維持管理で補修をおこなっていく。 擁壁に関して過年度に部分的な擁壁工事を実施しているが、平成31年度予算にも含まれており、当該道路の保全や保護のためにも擁壁の実設計、用地測量等をおこない、擁壁工事を実施していく予定である。</p>

No	提言年度	政策提言等の内容	これまでの取り組み経緯及び結果
14	平成28年度	<p>市産業まつりのヒージャーオーラサー用鉄柵の更新について</p> <p>市産業まつりにおけるヒージャーオーラサーは老若男女に人気があり、毎年多くの市民に親しまれている。現在、ヒージャーオーラサーに使用する鉄柵は老朽化が著しく、開催時には市職員が側で補助しながら対応している状況であり、事故が懸念される大変危険な状況である。つきましては、使用頻度や保管場所等も考慮の上、リース契約等を含め、次年度開催に向けた対応方を検討いただきたい。</p>	<p>平成29年度については、鉄柵の補強を行い、実施いたしました。平成30年度については、テント設置業者に新しい鉄柵を提供していただき、老朽化した柵は使用せず実施いたしました。今後も、老朽化した鉄柵は使用せず、安全面に配慮しながら、実施していきたいと考えております。</p>
15	平成29年度	<p>自治会加入促進に向けた取り組みについて</p> <p>自治会加入促進については、市、議会、市民、事業者等の役割を明確にし、市全体で取り組んでいく必要があると考えており、さらなる自治会加入促進に取り組んでいただきたい。</p>	<p>当市では、平成29年2月に自治会長会、宅建業者会、社会福祉協議会、宜野湾市の4者で「自治会への加入促進に関する基本協定書」を締結し、平成29年度に、「自治会加入促進パンフレット」を制作し、平成30年度は、事業所の加入数を上げるため、「地域応援ステッカー」を制作したところです。現在4者協定の枠組みで自治会加入促進の取り組みに注力しているところでございます。条例制定につきましては、自治会長会の意見も聞きながら、引き続き調査・研究をまいります。</p>
16	平成29年度	<p>公民館利用方法の市民への周知について</p> <p>公民館の利用方法について、さらなる利用促進の観点から、市ホームページ等でも広報していただきたい。</p>	<p>公民館(学習等供用施設及びコミュニティ供用施設含む)の利用方法につきましては、各自治会から区民の方々に周知されているところでありますが、市と致しましても、市報において毎月各自治会の活動内容を取り上げて公民館の利用や参加を促すとともに、市ホームページにおいても注目される行事等について掲載し、市民に周知を図っているところでございます。引き続き、市ホームページ等において市民に周知を図るとともに、市で実施する「地域づくり事業」の助成金を活用して開発された各自治会を紹介しているG1情報発信アプリを周知してまいります。また各自治会においてもフェイスブックなどを活用して情報発信の強化を図っていきたくと考えております。</p>
17	平成30年度	<p>市内一周コミュニティバスの導入について</p> <p>市のど真ん中に普天間基地が位置するいびつな交通路線により市民は日常的に不便を被っている。そのような状況下において市内を周回する公共交通機関の必要性は高いものと考えており、市内一周コミュニティバスの導入に向け取り組んでいただきたい。</p>	<p>通勤通学など市民の日常生活の移動や高齢者、障がい者など交通弱者の交通手段の確保につきましては、コミュニティバスデマンド型タクシーなどを導入している他市町村の状況を調査しております。また、平成31年3月には中部市町村連携交通会議も立ち上がったことから、近隣市町村とも情報交換などを行いながら、運行形態や運行方法、コストなどについて検討する宜野湾市地域公共交通会議(仮称)の設置に向けて取り組んでまいりたいと思っております。</p>

No	提言年度	政策提言等の内容	これまでの取り組み経緯及び結果
18	平成29年度	<p>文化財の学習に関する事業の市民への周知について 文化財の学習に関する事業は多数実施されているが、いまだ市民の認知度は低い状況と考える。文化財は地域の歴史と文化を知る大切な市民共有の財産でもあることから周知に係る取り組みを強化していただきたい。</p>	<p>文化課においては、地域の文化財に関心を持っていただくために、市立博物館において市内の一つの“字(あざ)”をテーマにした「ぎのわんの“字(あざ)”」展や地域の文化財を主体とした、イガルーシマ文化財教室を毎年開催しております。このような企画展や市民講座を開催する際に市内の公共施設や自治会へポスター・チラシの配布やホームページにて告知するなど、周知に取り組んでいるところでございます。さらに、地域の文化財を手軽に知ることができる地域文化財案内板の設置や歴史文化遺産マップの作成・配布、ホームページへの掲載を行い、必要な方が取得できるようにしております。今後は、文化財に関する情報に手軽にアクセスできるようホームページを充実させるとともに、関係部署と連携して、文化財に関するイベント広報の強化を図ってまいります。</p>
19	平成30年度	<p>市民からのリクエストに基づく購入図書を選定方法の周知について 市民からのリクエストに基づく図書購入は、選書会議において内容や既存図書等の状況を踏まえ、特定のジャンルに偏らないバランスのとれた購入がなされているが、周知されていない現状があることから、掲示物等を活用し図書館利用者への周知に取り組んでいただきたい。</p>	<p>宜野湾市民図書館では隔月で発行している図書館だより「ふえふききじむなあ」平成30年度第219号のQ&Aコーナーに図書館における資料の選定方法やリクエストについて記載しました。また、ホームページのメニュー「図書館だよりきじむなあ」(ダウンロード可能)を作成し紙面とWebを用いて周知・広報に努めています。</p>